

平成27年度国庫補助事業：中央アジア地域等貿易投資促進事業
中央アジア等産業育成ビジネスマッチング事業
第2回受入型ビジネスマッチング
「キルギス・タジキスタン食品加工グループ・ビジネスマッチング」
実施概要

一般社団法人ロシアNIS貿易会(ROTOBO)
ロシアNIS経済研究所

1. 中央アジア等産業育成ビジネスマッチング事業の目的

本事業は、日本と中央アジア等地域との間の貿易・投資関係の発展と、対象国の産業多角化ならびに市場経済化促進に資することを目的とする「中央アジア地域等貿易投資促進事業」の一環である。原燃料・一次産品生産に特化した単純な産業構造を擁する中央アジア諸国にとって、産業多角化が長期的経済発展を図る上で不可欠の要件であるとの認識に鑑み、これを日本企業とのビジネスマッチングを通じて支援する。日本における事業パートナーの発掘を望む現地の業界団体・企業グループの訪日、あるいは同様に現地における事業パートナーとの出会いを望む日本の企業団体等の現地渡航を、情報提供や然るべき企業の紹介等によってサポートし、双方の交流活発化による貿易・投資促進を図る。

特に、原料基盤を生かした加工業、資源開発のサポーター・インダストリーとなる機械製造業等、対象国に適合した製造業分野の企業と、加工度の向上や環境適応能力の向上につながる高度技術を擁する日本企業をマッチングさせることにより、前者には生産性や品質の向上、後者には新たなビジネスチャンスとなる双方ウィンウィンの関係構築を目指す。

平成27年度は中央アジア諸国の在京大使館ならびにROTOBOの現地パートナー機関からの要請、あるいは同パートナー機関、現地の日本センター等の協力による現地からの公募により、招聘案件を選定した。

2. 第2回受入型ビジネスマッチング

1) 経緯

平成27年度の事業実施状況は以下の通り。

- | | |
|---------|---|
| 6月1日 | ビジネスマッチング案件募集を、中央アジア6カ国(アゼルバイジャン大使館を含む)の在京大使館および現地パートナー経由で開始。 |
| 6月30日 | 応募締め切り。 |
| 7月上旬～中旬 | 案件審査、結果通知。キルギス・タジキスタンより「バルカッド」社他からなる食品加工企業グループを、第2回招聘対象として選定。 |

今回実施するのは以上の経緯を受けての招聘事業、第2回受入型ビジネスマッチングである。

2)に示す5企業・5名からなるグループを3)の日程で招聘、日本企業向けプレゼンテーション、関連企業及との面談・訪問、見本市視察等を実施した。

2) 招聘対象者

<キルギス>

①セルケバエフ クバヌィチ(SERKEBAEV Kubanych)

役職:「バルカッド(Barkad)」社 社長

(ハム、冷凍餃子、パスタ等製造)

②サビタクノフ ジャミラ(SABITAKUNOVA Zhamila)

役職:「サビタクノフ(Sabitakunova)」社 社長

(コーン菓子製造)

③ベシエムビエフ オルジャス(BESHEMBIEV Olzhas)

役職:「エコス インターナショナル(Ekos International)」社 社長

(虹鱒養殖・加工)

<タジキスタン>

④ハキモフ オシム(KHAKIMOV Osim)

役職:「マコーリ(Makolli)」社 社長

(パン、マカロニ製品、ウェハース菓子等製造)

⑤マフマトクロフ フシュヌダ(MAHMATKULOVA Khushnuda)

役職:「タジスナック(Tajsnack)」社 副社長(対外経済活動担当)

(スナック菓子製造)

3) 招聘企業概要

3-1) キルギス企業「バルカッド(Barkad)」

| | | | |
|---------|--|----------------------|--------------------------------|
| 企業名 | 有限会社「バルカッド(Barkad)」 | | |
| 住所 | Kyrgyz, Bishkek City, Intergel' po Str., 1/8 | | |
| Tel/Fax | +996-312-461332, +996-312-461337 | | |
| HP | http://www.barkad.kg/ (ロシア語) | | |
| 代表者 | セルケバエフ、クバヌィチ イサクノヴィチ (SERKEBAEV Kubanych Isakunovich) | 代表者役職 | 社長 |
| 設立年 | 2002年 | 資本金 | 2,215,641 ソム |
| 事業分野 | 食品加工 | 製品 | 冷凍食品(ペリメニ、ハンバーグ他)、ハム・ソーセージ、パスタ |
| 従業員数 | 74人 | | |
| 輸出 | なし | 輸入 | なし |
| 担当者 | 氏名 | セルケバエフ、クバヌィチ イサクノヴィチ | |

| | | |
|--|--------|----------------------------------|
| | | (SERKEBAEV Kubanych Isakunovich) |
| | 役職 | 社長 |
| | 電話番号 | +996-551-334407 |
| | E-mail | Kubanych0604@mail.ru |

| | | |
|--|--|--|
|  <p>冷凍水餃子(ペリメニ)</p> |  <p>ハム</p> |  <p>冷凍ハンバーグ(カツレツ)</p> |
|--|--|--|

3-2) キルギス企業「サビタクノワ(Sabitakunova)」

| | | | |
|---------|--|---------------------------------------|-----------------------|
| 企業名 | 「サビタクノワ(Sabitakunova)」社 | | |
| 住所 | Kyrgyz, Bishkek City, Kozhobergenova Str., 110 | | |
| Tel/Fax | +996-312-551-297 | | |
| HP | http://www.naturo.kg/ (ロシア語) | | |
| 代表者 | サビタクノワ ジャミラ (SABITAKUNOVA Zhamila.) | 代表者役職 | 社長 |
| 設立年 | 2008年 | 資本金 | — |
| 事業分野 | 食品加工 | 製品 | コーン菓子 |
| 従業員数 | 12人 | | |
| 輸出 | なし | 輸入 | コーン菓子原料 10万ドル分(ウクライナ) |
| 担当者 | 氏名 | サビタクノワ ジャミラ (SABITAKUNOVA Zhamila) | |
| | 役職 | 社長 | |
| | 電話番号 | +996-773-999602 | |
| | E-mail | jamila58_58@mail.ru | |



3-3) キルギス企業「エコス・インターナショナル(Ekos International)」

| | | | |
|---------|--|--|--------------------|
| 企業名 | 有限会社「エコス・インターナショナル(Ekos International)」 | | |
| 住所 | Kyrgyz, Bishkek City, Chui Ave, 40 | | |
| Tel/Fax | +996-771-333-656 | | |
| HP | | | |
| 代表者 | ベイシエムビエフ、オルジャス・トゥインタエヴィッチ (BEISHEMBIEV Olzhas Tyntaevich) | 代表者役職 | 社長 |
| 設立年 | 2005 年 | 資本金 | 1,000,000 ソム |
| 事業分野 | 虹鱒の養殖・加工 | 製品 | 魚製品 |
| 従業員数 | 20 人 | | |
| 輸出 | 魚製品 60～70 万ドル | 輸入 | 餌、魚製品、機械 30～40 万ドル |
| 担当者 | 氏名 | ベイシエムビエフ、オルジャス・トゥインタエヴィッチ (BEISHEMBIEV Olzhas Tyntaevich) | |
| | 役職 | 社長 | |
| | 電話番号 | +996-771-333-656 | |
| | E-mail | ecos.int@gmail.com | |



虹鱒の養殖・加工

3-4) タジキスタン企業「マコーリ(Makolli)」

| | | | |
|---------|--|--|--------------------------|
| 企業名 | 有限会社「マコーリ(Makolli)」 | | |
| 住所 | Tajikistan, Dushanbe City, R. Nabieva Str., 345/1 | | |
| Tel/Fax | +992-900-303-030 | | |
| HP | www.makolli.tj | | |
| 代表者 | ハキモフ、オシム・ユスフォヴィチ (KHAKIMOV Osim Yusufovich) | 代表者役職 | 社長 |
| 設立年 | 2003年 | 資本金 | 1,900,000 ソモニ |
| 事業分野 | 食品加工 | 製品 | パン、マカロニ製品、菓子(ウェハース等)、小麦粉 |
| 従業員数 | 85人 | | |
| 輸出 | 現在交渉中(アフガニスタンへのテスト輸出あり) | 輸入 | なし |
| 担当者 | 氏名 | ハキモフ、オシム・ユスフォヴィチ (KHAKIMOV Osim Yusufovich) | |
| | 役職 | 社長 | |
| | 電話番号 | +992-900-005-518 | |
| | E-mail | makolli@mail.ru | |



マカロニ



ウェハース菓子



パン

3-5) タジキスタン企業「タジスナック(Tajsnak)」

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 企業名 | 有限会社「タジスナック(Tajsnak)」 | | |
| 住所 | Tajikistan, Dushanbe City, R. Nabieva Str., 345/1 | | |
| Tel/Fax | +992-900-000-808 | | |
| HP | - | | |
| 代表者 | ハキモフ、オシム・ユスフォヴィチ (KHAKIMOV Osim Yusufovich) | 代表者役職 | 社長 |
| 設立年 | 2011年 | 資本金 | 1,445,000 ソモニ |
| 事業分野 | 食品加工 | 製品 | チップス、スハリキ(パンの snack 菓子)、食用ヒマワリ種、ピスタチオ他 |
| 従業員数 | 20人 | | |
| 輸出 | チップス、スハリキ(アフガニスタン) | 輸入 | 油、スパイス(ロシア)、 梱包材(中国)、ポテトペレット(ベラルーシ) |
| 担当者 | 氏名 | ハキモフ、オシム・ユスフォヴィチ (KHAKIMOV Osim Yusufovich) | |
| | 役職 | 社長 | |
| | 電話番号 | +992-900-000-808 | |
| | E-mail | tajsnack@mail.ru | |



チップス



スハリキ (パンスナック菓子)



ピスタチオ

4) 招聘日程: 平成27年10月13日(火)～10月20日(火) 8日間

| | | | 日程 | 宿泊地 |
|---|---------------|-------------|---|-----|
| 0 | 10月12日 (祝) | 08:00 | 【タジキスタングループ】 ドゥシャンベ発 (SZ201) | 東京 |
| | | 10:30 | モスクワ DME 着 | |
| | | 17:15 | モスクワ DME 発 (JL442) | |
| | | 06:20 | 【キルギスグループ】 ビシケク発 (SU1883) | |
| | | 07:50 | モスクワ着 | |
| | | 19:00 | モスクワ発 (SU260) | |
| 1 | 10月13日 (火) | 08:35 | 成田着 (タジクグループ) | 東京 |
| | | 10:35 | 成田着 (キルギスグループ) | |
| | | | *成田空港→ホテル (公共交通機関) *ホテルチェックイン | |
| | | 15:30 | ■キックオフ・ミーティング (於: ロシア NIS 貿易会) | |
| | | 16:30 | ■経済産業省訪問: ロシア・中央アジア・コーカサス室表敬 | |
| 2 | 10月14日 (水) | 10:00-12:00 | ■講義: 「日本の食品分野における中小企業の商品開発への取り組み」 (於: ロシア NIS 貿易会) 講師: コンサルティング・オフィス高橋代表 | 東京 |
| | | 14:00-15:30 | ■ビジネスプレゼンテーションおよび名刺交換会 (於: ロシア NIS 貿易会) | |
| 3 | 10月15日 (木) | 10:00-12:00 | ■日本企業 (食品メーカー) 工場視察 | 東京 |
| | | 14:00-15:00 | ■日本企業 (食肉加工品メーカー) 工場視察 | |
| | | 15:45-17:15 | ■日本企業 (焼き菓子メーカー) 本社工場視察 | |
| 4 | 10月16日 (金) | 終日 | ■JAPAN PACK 国際梱包機械展 (於: 東京ビッグサイト) 会場にて企業との個別面談 東京→浜松へ移動 | 浜松 |

| | | | | |
|---|---------------|----------------------------------|--|-----------|
| 5 | 10月17日 (土) | 10:00 PM | ■日本企業（焼き菓子メーカー）工場視察 ■浜松市内大型スーパー視察 浜松→東京へ移動 | 東京 |
| 6 | 10月18日 (日) | 終日 | 資料整理 | 東京 |
| 7 | 10月19日 (月) | 13:00-14:30 16:00 | ■日本企業（食品メーカー）工場視察 ■ラップアップミーティング（於：ロシアNIS貿易会） | 東京 |
| 8 | 10月20日 (火) | 10:30 14:50 20:55 22:30 | 成田発（JL413）タジクグループ ヘルシンキ着 ヘルシンキ発（SU2201） モスクワ着 | モスクワ 泊 |
| | | 12:00 16:10 21:55 | 成田発（SU261）キルギスグループ モスクワ着 モスクワ発（SU1882） | 機内泊 |
| | 10月21日 (水) | 05:05 | ビシケク着 | |
| | | 12:00 18:00 | モスクワ発（SZ202） ドゥシャンベ着 | |

◇宿舎

1. 東京

スマイルホテル東京日本橋

住所：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-13-5

電話：03-3668-7711/FAX:03-3668-7719

2. 浜松

ダイワロイネットホテル浜松

住所：〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町9-1

電話：053-455-8855

5)キルギス・タジキスタン食品加工グループ・ビジネスプレゼンテーション

①日時： 2015年10月14日(水)14:00～15:30

②会場： ロシアNIS貿易会会議室

③参加人数： 約20名

④記録：

クバヌイチ・セルケバエフ バルカッド社 社長

創業2002年。冷凍ペリメニ、ハム・ソーセージ、パスタを製造する。キルギスでも有数の食品加工企業として数えられ、自社ブランド商品は100点を超える。保存料を使用せず天然の食材にこだわり、品質の高さを評価され国内外の品評会で受賞実績を持つ。創業当時、同社事業は冷蔵カット肉の製造から始まり、その後、冷凍食品の製造に乗り出した。2005年には、イタリアから冷凍ペリメニ製造ラインを導入し、本格的に製造を開始。今では冷凍ペリメニが同社の主力商品となっている。他方、ハム・ソーセージ製品の製造開始

は2010年と比較的歴史が浅く、製造技術向上のため欧州から専門家を招いて研修をしばしば行っている。社員教育・品質管理・商品開発などの取り組みでも同様に、在キルギス日本センターや国外の専門家との協力の下、様々な研修プログラムを頻繁に実施しており、品質・製造技術の向上を常に追求している。

ジャミラ・サビタクノフ サビタクノフ社 社長

2008年創業のコーン菓子製造企業で、同社の主力商品「NATURO」は今日キルギスのコーン菓子市場においてトップシェアを占める人気商品となっている。同製品が市場において人気を博している要因は、多様な消費者ニーズに応えるために製品のサイズを幅広く展開している(50～500gで6つのサイズ)ことに加え、製造工程はもちろん、原料の調達先であるウクライナのサプライヤーの選定にも厳しい基準を設けていること、天然原料を使い、保存料・着色料を使用しない製法で製造していることが指摘できる。

さらに、製品の主要な消費者が子供であることを考慮した適正な価格決定、子供にとって親しみやすいキャラクターを製品のパッケージに用いるなどといった細かい配慮も、製品の人気を支える一因だ。

絶え間ない製品開発も同社の強みとなっている。最近では年齢層の高い消費者向けにソバとトウモロコシを使用したスティック菓子や、食事制限を受けている消費者用に天然由来の甘味料を使用した菓子の開発を行っている。今後は新たにシリアル、インスタント粥の製造にも乗り出す予定。

現在、同社はキルギス国内に流通システムを構築し、製品を市場へ供給している。しかし、2015年にキルギスがユーラシア経済連合に加盟したことを機に、加盟国への輸出も視野に入れる。事業拡大のための設備投資が目下の課題。

オルジャス・ベイシエムビエフ エコス・インターナショナル社 社長

創業2005年。同社の主な事業はニジマスの養殖と加工で、養殖のための生簀をキルギス北西部のイスイク・クリ湖に所有する。イスイク・クリ湖では年間を通して水温があまり高くないためニジマスの養殖に適している。同社の養殖事業は国外から買い付けた魚卵を孵化、養殖し一定のサイズまで育てた後、加工・販売を行う。加工方法は、冷蔵、冷凍、切り身など。

魚の消費量が少ないキルギスにとってニジマスの養殖は新しい分野の事業であり、同市場やそれに関連した裾野分野の規模は決して大きくはない。そのため同社でも質の良い飼料などは輸入品に頼らざるを得ないのが現状。

だがキルギスでは近年、食文化の多様化に伴い、魚市場は急速に拡大している。今日、規模はあまり大きくないが、キルギス全体で数十社の養殖企業が存在している。それに加え、キルギスのユーラシア経済連合への加盟を機に、商品の輸出を検討しており、生産規模を増加させること、それに併せた加工能力の増強が課題となっている。

オシム・ハキモフ マコーリ社 社長

同社は小麦製品を製造・販売する食品加工企業で、創業は2003年。グループ傘下に流通企業を有しているため、独自の流通網を用いてドゥシャンベ市を中心に国内で商品を流通させている。

従来、食料品をロシア、ウクライナ、トルコ、イランなどからの輸入に依存していたタジキスタンでは、ソ連崩壊後国内の食料流通量が極端に低下、右問題意識のもと事業の立上げを決意した。

創業当初はマカロニ製品の製造のみを行っていたが、順次事業を拡大。今では、マカロニ製品のほかに、パン、菓子、インスタント麺の製造も手がけている。また、同社は最新の製粉機や検査室を所有しており、原料受入時と製品出荷時の品質検査の徹底が、製品の安全性に繋がっている。今後は、国内市場で需要が高まりつつある天然酵母を使ったパンをはじめとする、天然素材と伝統製法にこだわった製品の開

発・販売を進める。

オシム・ハキモフ タジスナック社 社長

同社はマコーリ社のグループ企業であり、マコーリ社同様、ハキモフ氏が社長を務める2011年創業の snacks 菓子製造・販売企業。同社は、タジキスタンで初のsnacks製造企業であり、それ以前はタジキスタンで流通していたsnacks菓子はすべて輸入品であった。2011年の創業当初はラスクを製造、翌年の2012年にはヒマワリの種などのナッツやポテトチップスの製造を始めた。

今後の事業展開として、自社栽培のジャガイモを使用したポテトチップスの製造を検討している。そのため、新技術・設備の導入、作付用ジャガイモ種子の選定、栽培に向けた契約農家との交渉も順調に進んでおり、2016年中の開始が予定されている。将来的には国産ジャガイモだけを使用したポテトチップスの生産を実現したい。

➤ ビジネスプレゼンテーション(平成27年10月14日)の様子



➤ 企業訪問・面談の様子



以上